

稲作情報 第5号

令和8年6月21日

黒部市
黒部市農業技術会議

コシヒカリ（5月上～中旬植え）の分けつは順調に増加しており、茎数は平年よりも多い状況です。

田面が柔らかい場合は、歩くと足跡が浅く残る程度まで、しっかり干し固めてください。また、田植えが遅い場合も、田植え後4週間までに中干しを開始してください。

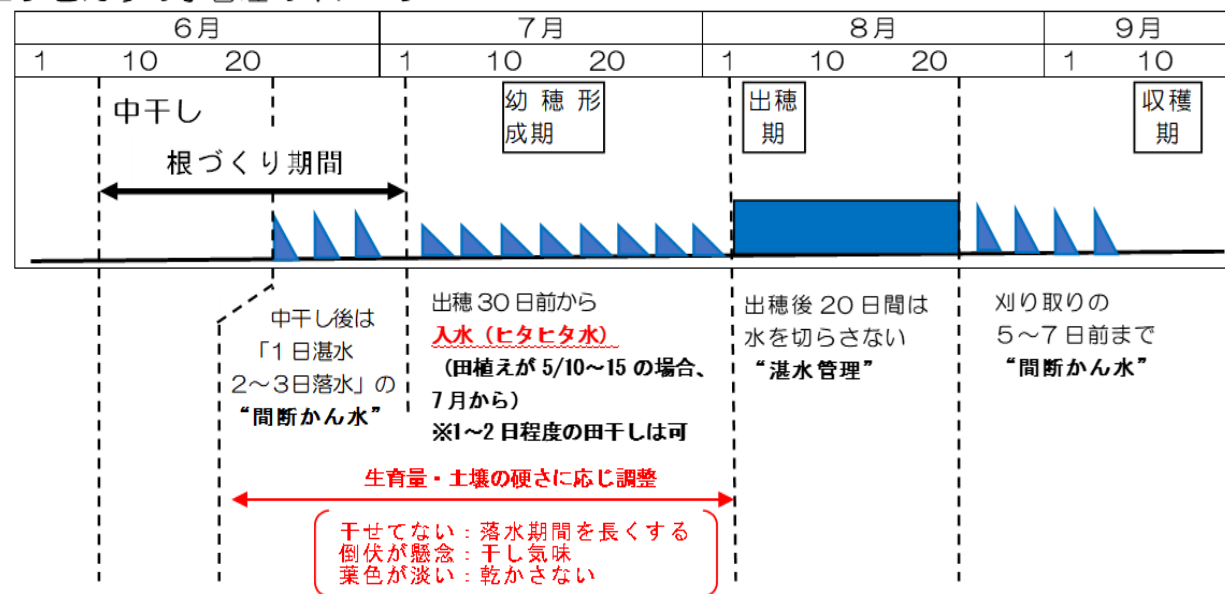
1 中干し後の水管理

一定の間隔で
水を入れたり抜いたりする水管理

中干し後は、幼穂形成期頃まで「**間断かん水**」を実施する。コシヒカリは、出穂30日前からは、土壌が乾かないように入水（ヒタヒタ水）する。

- ◆「**間断かん水**」の目安 ※湛水時はヒタヒタ水
- 乾きやすいほ場 ⇒ 1日湛水、2～3日落水
 - 乾きにくいほ場、葉色が濃いほ場 ⇒ 1日湛水、4～5日落水
- （注）肥料等を追肥する場合は、水をためて追肥した後、落水せず自然減水してから「**間断かん水**」を実施してください。

コシヒカリの水管理のイメージ



異形株（ばか苗）が散見されます。早めに抜き取りをお願いします。抜き取り株は焼却等で処分

2 てんたかくの管理

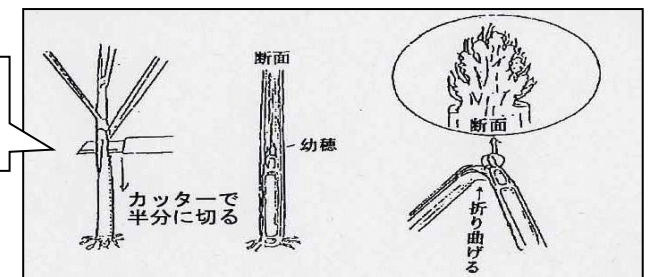
- 一発基肥肥料栽培の場合
基本的には追肥は不要ですが、6月下旬に葉色が4.2（粘質土4.0）より薄い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行う。
- 分施肥体系※の場合 ※基肥206号+穂肥

1回目（出穂25日前）			2回目（出穂15日前）	
幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1～2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 10～13kg/10a

* 1回目の穂肥施用前に葉色が4.0以下となる場合は、3日程度早めに施用しましょう。

【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的に生育している株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認してください。



3 病害虫防除

- カメムシ対策
前年の大量発生を受け、雑草地の斑点米カメムシ類の発生が多い状況です。カメムシ類の生息数を抑えるため、餌となるイネ科雑草の穂が出る前にこまめに除草を行いましょう。また、大麦跡田なども雑草が繁茂しないように適正に管理しましょう。

主要なカメムシ類



地域で一斉に取り組みましょう！

草刈り運動期間 6月26日（金）～7月5日（日） イネ科雑草（草丈30～40cm）
一斉草刈り日 6月27日（土）・28日（日）

- * 草刈り時は保護具の着用や熱中症対策等、作業者の農作業安全に十分注意するとともに、周辺の人や車などにも十分注意してください。
- * 用水付近の草刈りは転落防止に気をつけ、刈り取った草は、用水に流さないでください。

（2）随時防除

畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬～7月上旬	トレボン粉剤 DL	4kg/10a	畦畔際を重点的に防除する。